

1日の活動

1日の活動にも「学び」はたくさんあります

4年生の兼松君と三浦君は、教員採用試験を前に、福島市の活動メニュー表の中から短期間希望している飯坂小学校の「町探検」を選んで活動しました。

当日は、心配された雨も小降りになり、実施されました。たった1日の活動でしたが、子どもたちや先生方からたくさんのことを「学び」、教師になる決意を固めることができました。



2年生の子どもたちとの出会い、町探検スタートです。



「かねまつせんせい、かさがたたためません。」

4年 兼松 大聡

今回の飯坂小での学校ボランティアで気付いたことが2つあった。

1つ目は、子どもが起こす問題は、想定外のものもたくさんあるということだ。傘が柵にはさまってとれなくなってしまったり、折りたたみ傘をうまくたためずに戸惑っている子が多かったり、今の自分には予想できなかったことが起こった。

このような問題に対しては、子どもの目線で物事を考えることや、常に何かが起こることを前提に活動する姿勢が大切だと思った。

2つ目は、授業づくりの難しさだった。町探検では、体験から子どもが「気付く」ことが大切になると思う。しかし、実際は安全確保のための負担が大きく、担任の力だけでは充実した活動を確保することが難しいのではないかと思った。他の教員はもちろん、地域住民とも協力して授業をつくるのが大切だと思った。

このように、活動を通して教師の仕事の大変さを学んだ。それと同時に、子どもたちの素直さやかわいらしさも感じることができ、より教師になりたいという思いが強まった。

4年 三浦 孝平

私は、今回初めて学校ボランティアに参加しました。参加するきっかけは、友人からの誘いと教育実習では味わうことができなかった本当の現場の姿を知りたいという思いからでした。

実際の町探検では、子ども達は本当に楽しそうに町のあちこちを見て回っていました。その中でとても印象に残ったことがあります。それは、ある教員の歩道を渡り終えた子ども達への指導です。止まってくれた車に対してお辞儀をするように子ども達に教えていました。他人から何かしてもらったらお礼をするのは当たり前のことですが、なかなかできないことだと思います。その当たり前のことを当たり前にできるようにするには、教員自身が模範をしっかりと示していかなければいけないなと思いました。

体験の中での学びも多くありましたが、現場の先生方とお話する時間もありました。自分が思っている以上にやることが多く大変なことを知るとともに、今回見ることができた子ども達の笑顔をまた見たいなと強く思いました。またぜひ子ども達と触れ合うためにボランティアに参加しようと思います。



ときどき振り返りながら後ろの様子を確認しました。



【問合せ先】 学校ボランティア支援室は、疑問、困りごと、要望、相談に応じます。

(理工107 e-mail: 齋藤幸男 ysaito@educ.fukushima-u.ac.jp

二瓶洋允 hnihei@educ.fukushima-u.ac.jp

【相談時間】 月～金 (9:00～16:30)

【体験訪問】 水曜日は、保原小学校で全校『学び合い』を体験できます。